

ごみ・リサイクル通信

品川区清掃事務所

事業係

☎ 03-3490-7051
FAX 03-3490-7041

資源循環推進係

☎ 03-3490-7098
FAX 03-3490-7041

台風接近など、大雨や強風時の 資源・ごみの収集やしき方について

7月から10月にかけては、台風の多い季節となります。

台風の接近に伴い大雨や強風が予想される場合は、ごみ・資源の飛散や安全の理由から、可能な範囲で次回の収集日にお出しいただきますようお願いいたします。また、強風に備え、ごみ容器や資源回収コンテナ等の管理にもご配慮をお願いいたします。

排出される場合は、通常と同じく朝8時までにお出し下さい。



強風・荒天時であっても、ごみ・資源の収集は原則行いますが、天候や交通状況等により収集時間が大幅に変更となる場合もありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

災害時の大事なお知らせは、区ホームページなどで随時お伝えいたします。

台風や大雪などで警報が出たときなど、古着等の拠点回収が中止となる場合もあります。

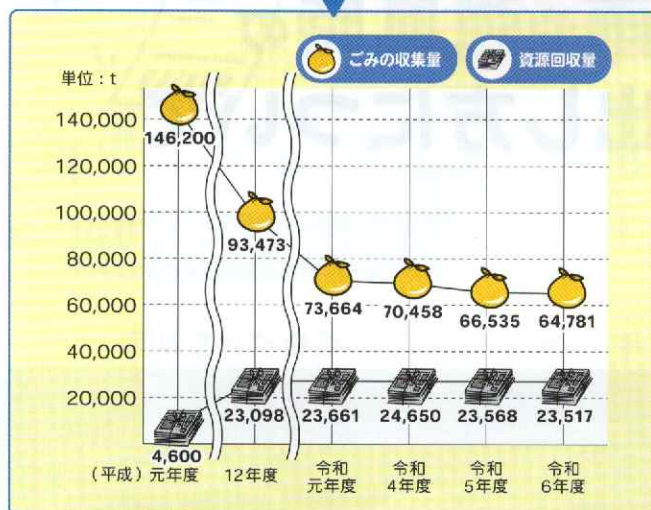


品川区の清掃事業とごみ・資源量について

区では、清掃事業の主な取り組みとして、①住宅地での「ごみの各戸収集」②商店街地区の「ごみの早朝戸別収集」③資源プラスチック、乾電池、蛍光灯、水銀体温計等の「資源のステーション回収」④古着等の「拠点回収」(区内31カ所)⑤古紙等の「集団回収」の支援⑥小型家電の回収等を行っています。

皆さんがごみとして出している物の中にも、資源として使えるものはたくさんあります。3R(リデュース・リユース・リサイクル)をより一層意識して、持続可能(サステナブル)な社会を一緒に目指していきましょう。

ごみ・資源回収量推移表



区民一人あたりのごみ量

(令和6年度)

	ごみ収集量				資源回収量
	燃やすごみ	陶器・ガラス・金属ごみ	粗大ごみ	合計	
総量	60,806t	2,052t	1,923t	64,781t	23,517t
区民1人1年あたり	157kg (令和5年度 163kg)				57kg
区民1人1日あたり	431g (令和5年度 447g)				156g

第十三期廃棄物減量等推進員を委嘱しました

区では、ごみの減量と適正な処理に関する熱意と見識を有する18歳以上の区民の方々の中から町会・自治会の推薦および公募により、廃棄物減量等推進員を委嘱しています。任期は2年で令和7年4月から第13期の活動が始まりました。



お問い合わせ 品川区清掃事務所 資源循環推進係

☎ 3490-7098

ペットボトルは、キャップとラベルを外して出しましょう

リサイクルするためには、素材が同一であることが重要です。例えばペットボトル・キャップ・ラベルは同じプラスチックでもそれぞれ素材が異なります。きちんとリサイクルするためには分別して出すことが重要です。

さっとすすぎ、ペットボトルのキャップとラベルを外して資源回収ステーションに出してください。「キャップ」と「ラベル」もリサイクルすることができます。ペットボトルと分けて「資源プラスチック」として中身の見える袋に入れて出してください。



生ごみはよく水気を切って出しましょう

夏場の生ごみは、特に水気をしっかり切ってから燃やすごみに出すようにしましょう。水分を含んだごみは大変腐りやすく、悪臭の原因となります。水気をよく切ることで、ごみの減量にもつながります。

「ごみ減量対策」「悪臭対策」「害虫対策」にご協力をお願いします。



お問い合わせ 品川区清掃事務所 事業係 ☎ 3490-7051



粗大ごみのお申し込みはお早めに

電話受付 品川区粗大ごみ受付センター（月曜日～土曜日（祝日含む）午前8:00～午後7:00、年末年始除く）

☎ 03-6733-5374

インターネット 品川区粗大ごみ受付センターインターネット受付システム

24時間受付 <https://shinagawa-sodai.com>

品川区粗大ごみ
インターネット
受付は
こちらから



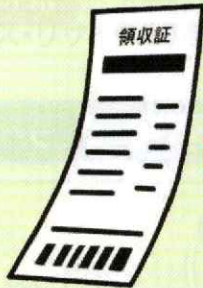
お問い合わせ 事業係 ☎ 3490-7051

資源に出されて困っています



雑がみ

レシート



燃やすごみに
出してください

回収された紙資源は、溶解する機械で1本1本の繊維になります。その際にレシートなどの感熱紙は特殊なインクを完全に取り除けず、発色して斑点が製品に現れる場合があります。そうすると再生品にならないだけでなく何百万円もの損害が発生します。

資源プラスチック

回収された資源はコンベアで流し、手で選別しています。資源プラスチックは中間処理施設で処理され再商品化されますが、中間処理施設の資源プラスチックの中から、次のようなものが回収されました。



ケガのおそれのある
刃物類



火災のおそれのある充電式電池を
内蔵した小型家電機器



電球類



夏によく利用されているハンディファンなどの充電式電池を内蔵した小型家電機器については、「陶器・ガラス・金属ごみ」で出すことができます。他の品目とは一緒にせず、充電式電池内蔵小型家電だけをまとめて「充電電池」と表示して、朝8時までに決められた場所に出してください。

工場や清掃車での事故や火災を防ぐため、
適正な分別にご協力をお願いします。

